

# 意見書 (医師記入)

こじか 保育園 園長 殿 病名『 _____ 』	入所児童氏名「 _____ 」
_____年____月____日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。	
_____年 _____月 _____日	
医療機関 医師名 _____	
印又はサイン	

保育所は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場所です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願い致します。感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育所生活が可能な状態になってからの登園であるようご配慮ください。

○医師が記入した意見書が望ましい感染症

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間(発症前24時間から発症後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(乳幼児は3日を経過するまで。)
風しん	発しん出現の前7日から後7日間位	発しんが消失してから
水疱(水ぼうそう)	発しん出現の1~2日前から痂皮化形成まで	全ての発しんが痂皮化してから
流行性耳下線炎(おたふくかぜ)	発症3日前から耳下線腫脹後4日	耳下線・顎下線・舌下線の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認められるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱・充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いので結膜炎症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症(0157、026、0111等)		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認された物
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数カ月排出される	医師により感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認められるまで
RSウイルス感染症(1歳未満)	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身症状が良いこと
ウイルス性胃腸炎(ロタ、ノロ、アデノ)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少しているが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること